


美和村(みわむら)

	<住所>319-2692 那珂郡美和村大字高部 5281-1 <Tel> 0295-58-2111 <Fax> 0295-58-2513 <HP>http://www.vill.miwa.ibarakijp <e-mail>vill-miwa@adwm.ocn.ne.jp	地域指定 過疎、辺地、山振、 特定農山村	一部事務組合加入事業 火葬場、消防救急 ごみ処理、し尿処理	公営企業 簡易水道、宅造、 農業集落排水
	類型 I-3 コード番号 083461 面積 80.35k㎡			

<行政組織>

①議会(H14.3.1 現在)

議長	小室 正美	副議長	成井 文夫
任期	H17.9.28	定数	14名
現議員数	14名		
党派別	共産1 無13		

②三役(H14.3.1 現在)

長	大瀧 典夫	任期	H12.10.30~H16.10.29
助役	木村 三男	収入役	和知 好美

③職員数 (人)

職員数	H11年度	H12年度	H13年度	
		99	99	98
職員構成 (H13.4.1)	普通会計	78	一般行政職	59
	うち施設関係	10	技能労務職	9
	職員一人 当たり住民数	48.9	企業職	5
			消防職	0
	公営事業会計	20	教育職	4
合計	98	その他	21	

④機構図(H14.3.1 現在)

<村長>-<助役>-
 企画課-企画係、広報係、統計係、工芸ふれあいセンター係(工芸ふれあいセンター)、氷之沢下檜沢地区振興係(美和温泉 ささの湯)
 総務課-総務係、職員係、財政係、財産管理係
 税務課-住民税係、資産税係、地籍管理係
 生活環境課-生活環境係、水道係、下水道係
 住民福祉課-福祉係、住民係、保険係、保健衛生係、施設係(保育所、高齢者コミュニティーセンター、総合福祉センター)
 経済課-農業係、林業係、商工観光係(三浦杉公園、花立自然公園 物産センター「北斗星」)
 建設課-土木係、建築係、用地係
 診療所-庶務係、歯科係、会計係、医事係、看護係

<収入役>-
 出納室-出納係、審査係

<教育長>-
 教育委員会-総務係、学校教育係(幼稚園、小学校、中学校)、生涯学習係(公民館)、社会体育係(運動公園)

<議会>-
 議会事務局-総務係、議事係

<行政委員会>-
 選挙管理委員会事務局、監査委員事務局、農業委員会事務局

<概要>

①沿革

昭和31年9月29日 合体 檜沢村 薩郷村

②地勢・風土等

那珂郡の最北西部に位置し、西北は栃木県に接しており、県都の水戸市から約40km、車で1時間の距離である。
 面積の81.4%を山林が占める山村で、恵まれた自然資源を活かした公園等が整備され、近年では美和温泉「ささの湯」や道の駅・物産センター「北斗星」が人気を集めている。自然環境などの豊かな自然を守り育てると共に、生活環境の整備を基本に、住みよい、魅力ある村づくりを目指している。

③人口・世帯数

人口(人)	性別	国勢調査			常住人口(H14.3.1)
		H2	H7	H12	
男	男	2,644	2,437	2,259	2,363
	女	2,639	2,525	2,353	2,413
合計		5,283	4,962	4,612	4,776
世帯数		1,391	1,380	1,369	1,400

④有権者数(H13.12.2 現在) ⑤高齢人口割合(H12 国勢調査)

有権者数(人)	男	女	計	高齢人口割合
	1,916	2,001	3,917	

<産業・経済>

①生産・所得(平成10年度)

市町村内総生産	109億円	就業者1人当たり	7,541千円
住民所得	92億円	人口1人当たり	1,929千円

②産業構造 (百万円・人)

区分	総生産額(H10年度)		就業人口(H12国調)	
第1次	658	6.0%	345	14.67%
第2次	3,496	32.0%	1,049	44.60%
第3次	7,028	64.4%	958	40.73%
総額・総数	10,918	—	2,352	—

③農業・工業・商業 (人・百万円)

農業(H12.2.1)	農家数	農業就業人口	農業粗生産額(H11.1.1~H11.12.31)
	622	573	52(千万円)
製造業(H11.12.31)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等(H11.1.1~H11.12.31)
	28	351	4,808
卸・小売業(H11.7.1)	商店数	従業者数	年間販売額(H10.4.1~H11.3.31)
	78	189	1,952

④特産物

杉、檜、そば、しいたけ

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

年度	H11 決算	H12 決算	増減率
歳入	3,218,614	3,166,337	-1.6
歳出	3,090,196	2,997,683	-3.0
形式収支	128,418	168,654	—
実質収支	101,285	109,634	—
単年度収支	-4,264	8,349	—
実質単年度収支	54,671	-28,711	—
積立金現在高	1,190,015	1,053,305	-11.5
地方債現在高	2,550,830	2,647,852	3.8

②財源及び支出の状況(構成比)

(%)

区分	H11 決算	H12 決算
一般財源	70.5	73.5
自主財源	20.8	20.6
義務的経費	40.7	41.1
投資的経費	21.9	23.9

③主な歳入・歳出

(百万円・%)

区分	H12 決算	増減率	H13 見込み	増減率	H14 当初予算	増減率
歳入	3,166	-1.6	3,285	3.8	3,028	-7.8
うち地方税	278	-4.8	278	0.0	280	0.7
うち地方交付税	1,706	0.7	1,603	-6.0	1,436	-10.4
うち国県支出金	294	-30.5	475	61.6	355	-25.3
うち地方債	389	23.6	395	1.5	451	14.2
歳出	2,997	-3.0	3,195	6.6	3,028	-5.2
うち義務的経費						
人件費	778	0.6	757	-2.7	752	-0.7
扶助費	82	-35.6	82	0.0	91	11.0
公債費	370	-3.5	367	0.8	353	-3.8
計	1,230	-2.3	1,206	-2.0	1,196	-0.8
うち物件費	447	-5.2	478	6.9	491	2.7
うち普通建設事業費						
補助単独	154	3.1	268	74.0	234	-12.7
	532	14.1	452	-15.0	368	18.6

④主要指標(平成12年度)

区分	指数等
標準財政規模	1,940 百万円
歳出決算倍率	1.5 倍
経常収支比率	85.5 %
財政力指数(3ヶ年平均)	0.180
実質収支比率	5.6 %
公債費比率	8.5 %
公債費負担比率	15.9 %
起債制限比率(3ヶ年平均)	8.0 %
地方債現在高倍率	1.4 倍
税の徴収率	84.9 %
積立金現在高	
財調・減債	569 百万円
特定目的	483 百万円
ラスパイレース指数(H13.4.1)	97.3

⑤市町村税の状況(平成12年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率	収入額前年比
市町村民税(構成比)	113,167 (34.5)	108,0416 (38.8)	95.5	-6.1
固定資産税(構成比)	181,664 (55.3)	149,626 (53.7)	82.4	-4.1
その他の税(構成比)	33,445 (10.2)	21,104 (7.6)	63.1	-3.0
合計	328,276	278,776	84.9	-4.8

<公共施設整備状況>(平成12年度)

小学校	2校	老人福祉施設	2ヶ所
中学校	1校	病院・診療所	1ヶ所
幼稚園	1園	道路改良率	42.4%
保育所	2ヶ所	道路舗装率	61.0%
図書館	0ヶ所	ごみ焼却処理率	31.9%
公営住宅	27戸	し尿衛生処理率	100.0%
1人当たり公園面積	22.3㎡	上水道等普及率	86.6%
公民館等	1ヶ所	排水等処理率	47.5%
体育館	0ヶ所	施設充足率(公私立幼稚園保育所)	168.3%
プール	0ヶ所		

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
山村振興事業	14~16	美和温泉「ささの湯」の拡張整備事業の一環として、農産物直売所と食材供給施設を建設し、地元農林産物等を中心に加工、販売を行う。	559
村道屋実質線改良事業	13~15	生活道路である鷺子地内のこの路線延長586mを拡幅、改良する。	200
村道入檜沢西河戸線改良事業	11~16	生活道路である高部地内のこの路線のうち、延長2,147mを拡幅、改良する。	853
村道笹山線改良事業	13~17	ダム関連地域であるこの路線は美和温泉「ささの湯」の進入路でもあるため延長200mについて拡幅、改良を行う。	207
簡易水道水量拡張事業	11~15	生活様式の変化に伴い、村簡易水道の使用量が大幅に増加している現状に対処するため、施設の拡張をはかる。	1,017

②今後の主要課題・特色ある行政等

- ・ 本村の基幹産業である農業については、農産物や特産物を物産センター「北斗星」や農産物直売所を販売拠点として販路を拡大し、産業の振興をはかる。
- ・ 長寿社会に対応した高齢者の保健及び福祉のむらづくりを推進する。
- ・ 安心、快適な暮らしのために、道路網の整備、上下水道の整備など生活環境の整備を推進する。
- ・ 長年、公共投資、民間投資がなされなかった緒川ダム関連地域については、住民の意向を的確にとらえて、早急に生活基盤の整備をはかる。
- ・ 林業の振興のため、地元産材を使用して建築する木造住宅に対する補助制度を設ける。